

第1回勉強会 事業報告

【趣 旨】

2027年のリニア中央新幹線の開通及びリニア飯田駅の設置に向けて、地域の課題が未だ解決する目途がたっていない。特にリニア駅と拠点集約連携型都市構造における中心拠点としての中心市街地（通称 丘のまち）の位置づけが明確に示されていないまま現在に至っている。そこで、今回の勉強会において、改めて様々な主体の参加協力を得て、丘のまちの構想を共有し、具体的将来ビジョンを共創実現するきっかけとなる勉強会と位置付ける。

【日時・場所】 令和3年6月29日(火) 19:00～ シルクホテル

【テーマ】 丘のまちの地域力を結集し、中心市街地の将来ビジョンを共創実現しよう

【参加人数】 勉強会 53名 情報交換会参加人数 33名

【内 容】

- 19:00 開会・会長あいさつ
- 19:15 「飯田5地区のまちづくり」説明・各地区会長からの補足説明
- 20:00 中心市街地活性化計画およびピアゴ跡地利用に伴う駅前プラザ利用計画
飯田市産業経済部 串原 部長 吉川建設(株) 飯田支店長 伊東役員
- 20:20 「20年後の賑わう中心市街地への市民提案」の発表
中心市街地を考える会 外松代表
- 20:50 質疑応答及びまとめ
- 21:10 閉会 情報交換会へ

時間超過のため、次回勉強会に延期した内容

リニア開通を見据えた新交通システムの提案

リニア駅と中心市街地とを結ぶ2次交通の在り方

一社飯田青年会議所 早川大地君

【内容の検証】

5地区まちづくり委員会からの現状や今後の計画をもとに各団体から丘の上に対する取組等の再確認ができた。ピアゴの跡地利用の考え方も聞け、新たなインフラ整備に関する留意点なども質疑応答の中から意識づけができたものと思う。情報交換会においては、次回、飯田青年会議所からの提案のプレゼンへの期待と今後の当フォーラムへのこの事業への期待等も聞かれた。

第2回勉強会 事業報告

【趣 旨】

2027年のリニア中央新幹線の開通及びリニア飯田駅の設置に向けて、地域の課題が未だ解決する目途がたっていない。特にリニア駅と拠点集約連携型都市構造における中心拠点としての中心市街地（通称 丘のまち）の位置づけが明確に示されていないまま現在に至っている。そこで、今回の勉強会において、改めて様々な主体の参加協力を得て、丘のまちの構想を共有し、具体的将来ビジョンを共創実現するきっかけとなる事を位置づける勉強会として開催した。

【日時・場所】 令和3年11月17日(水) 18:30~21:00 飯田商工会館ホール

【参加人数】 一般 10人、 会員及び賛助会員 25人

【テーマ】 丘のまちの地域力を結集し、中心市街地の将来ビジョンを共創実現しよう！！

【参加団体のプレゼン】

- 新交通システム提案（リニア駅と丘のまち） (一社)飯田青年会議所 早川大地様
- 地域のあたり前は宝箱 信越放送(株) 飯田放送局長 小口正史様
- 中心市街地での賑わい創出に向けて -自らの実践例- (株)松澤 取締役 折山尚美様

【全体討論会】

コーディネーター 中島一夫（南信州アルプスフォーラム部会長）

(一社)飯田青年会議所の早川氏から、新交通システムのありよう、特にリニア駅と丘のまちを結ぶありようについて、今までのフォーラムでの知見も参考に提案された。信越放送(株)飯田放送局長 小口正史氏からは、今まで赴任された県内各所の事例などを踏まえ、あたり前の文化・生活こそが、飯田下伊那に特化した宝の発見でもある旨の示唆があった。また、(株)松澤 取締役 折山尚美氏からは、ご自分たちのなされている地域を巻き込んだ賑わい創出の活動の発表があり、これらを常態化できるような関係づくり仲間づくりの大切さを各自で認識できた。

これらの皆様の活動とご示唆を、今後の丘のまちの提言構想（全体像）をどのように実現するかをフォーラムとしても考えていきたいとの認識が共有できたものと思われる。